



発行所 公益社団法人 高知県診療放射線技師会  
発行人 会長 岡林 正光  
事務局 〒780-0850  
高知市丸ノ内 1 丁目 7 番 45 号  
総合あんしんセンター 2 階  
TEL 088-872-4585  
Mail tomozen-akihiryu@power.odn.ne.jp

## 所 感

### 「総会総括」

副会長 高橋宏幸

平成 26 年 5 月 18 日日曜、朝 10 時から平成 25 年度高知県診療放射線技師会総会が総合あんしんセンター大会議室で開かれた。休日で晴天のなか集まった会員は昨年同様 40 名近い。しかし、本年度は、普段の中会議室と違い贅沢な場所使用と会場設営の違いなどがあらわれている。

総会の司会は、高知医療センターの大野常務理事が勤め、25 年勤続表彰のあと、議長には島津病院の北川会員が選出された。議事は平成 25 年度事業報告からはじまった。決算報告では、会議費を事業目的の会議費と管理目的の会議費に振り分ける訂正説明がおこなわれた(別紙参照)。

また監事からは、将来の支出に対する収入面を危惧する意見も寄せられた。全体を通じて最目に見ても円滑さに欠けた総会のように映ったが、会場からの戸惑いの声などは聞こえてこず、出席してくれた会員は理解してくれているのだろうかという疑問符の心配は必要なか不要なのか、つかみにくかった。唯一、決算報告や収支予算の用語が専門的でわかりにくく、聞いていてもその用語と数字の関係がわからず、より長い報告に聞こえて、近寄りがたい場面になっていると感じられた。

公益社団法人に移行し 1 年を向かえ、自らの団体を組織する会員の理解が得られるような説明をしなければ、世間の人々に広がるような理解が得られないのは当然である。今一度、理解を得られる説明をするためには、どうすべきか、執行部と会員とのコミュニケーションの場である総会であるが、やはり会と名が付くと畏まってしまうのは当然なのかもしれない。

今回、休日返上で出席された会員の方々は、高知県診療放射線技師会からの働きかけだけではなく、自らの歩み寄りをもって、この総会へ出席されているのだから、これからの高知県診療放射線技師会へなんらかの期待をもっているとなかなか確信している。来月からはじまる各地区会、60 周年の記念式典も控えていることを付け加えて、総会での所感は予定時間を超えることなく、すみやかに終了する。

		正味財産増減計算書		
		平成25年4月1日から平成26年3月31日まで		
一般会計		25年度	24年度	(単位:円) 増減
科目				
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	[ 334 ]	[ 286 ]	48	
基本財産受取利息	334	286	48	
受取会費	[ 1,517,000 ]	[ 1,763,000 ]	▲ 246,000	
本年度会費	1,267,000	1,482,000	▲ 215,000	
賛助会費	250,000	281,000	▲ 31,000	
事業収益	[ 430,400 ]	[ 347,200 ]	83,200	
広告収益	190,000	200,000	▲ 10,000	
事業受託費	240,400	147,200	93,200	
受取寄付金	[ 0 ]	[ 0 ]	0	
寄付金収入	0	0	0	
雑収益	[ 0 ]	[ 0 ]	0	
受取利息	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
経常収益計	1,947,734	2,110,486	▲ 162,752	
(2) 経常費用				
事業費支出	[ 1,218,469 ]	[ 1,160,847 ]	57,622	
会議費	30,000	30,500	▲ 500	
旅費交通費	156,700	191,526	▲ 34,826	
通信費	133,967	156,625	▲ 22,658	
印刷製本費	447,958	427,560	20,398	
諸謝金	248,090	123,128	124,962	
消耗品費	7,713	31,573	▲ 23,860	
他団体との情報交流費	30,400	51,400	▲ 21,000	
広報費	5,330	5,250	80	
賃借料	79,936	81,250	▲ 1,314	
減価償却費	47,274	47,274	0	
福利厚生費	29,211	11,176	18,035	
雑支出	1,890	3,585	▲ 1,695	
管理費支出	[ 928,355 ]	[ 1,064,482 ]	▲ 136,127	
会議費	30,000	30,500	▲ 500	
旅費交通費	87,500	135,526	▲ 48,026	
通信費	128,756	156,623	▲ 27,867	
印刷製本費	455,956	402,570	53,386	
賃借料	79,935	81,250	▲ 1,315	
事務局費	27,602	132,613	▲ 105,011	
税理士顧問料	47,395	52,500	▲ 5,105	
消耗品費	3,561	31,572	▲ 28,011	
減価償却費	524	2,198	▲ 1,674	
他団体との情報交流費	40,400	30,000	10,400	
広報費	5,330	5,250	80	
租税公課	7,600	0	7,600	
雑支出	13,796	3,880	9,916	
経常費用計	[ 2,146,824 ]	[ 2,225,329 ]	▲ 78,505	
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 199,090	▲ 114,843	▲ 84,247	
基本財産評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	▲ 199,090	▲ 114,843	▲ 84,247	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
過年度修正益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	13,901	▲ 13,901	
当期経常外増減額	0	▲ 13,901	13,901	
当期一般正味財産増減額	▲ 199,090	▲ 128,744	▲ 70,346	
一般正味財産期首残高	1,368,503	1,497,247	▲ 128,744	
一般正味財産期末残高	1,169,413	1,368,503	▲ 199,090	
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	1,169,413	1,368,503	▲ 199,090	

## 会の動き

### 平成 26 年度 第 2 回常務理事会

5 月 13 日 (火)、総合あんしんセンターにて第 2 回常務理事会を開催した。

## お知らせ

### 地区会のお知らせ！

地区・企画

平成 26 年度の地区会日程が決まりました。皆様、誘い合わせてご参加をお願いします。

【地区名】	【開催日時】	【場所】
西 南(A,B)	6 月 07 日(土)16:00 から	木俵病院 18:00～別会場にて情報交換会
西 部(C,D)	6 月 13 日(金)18:30 から	土佐市民病院 会議室
中央西(E,F,G)	6 月 26 日(木)18:30 から	総合あんしんセンター本会事務局
中央南(H,I)	6 月 10 日(火)18:30 から	高知医療センター1 階研修室 2
中央東(J,K)	6 月 19 日(木)18:30 から	高知赤十字病院 1 階カンファレンス室
東 部(L,M)	6 月 27 日(金)18:30 から	JA 高知病院 5 階会議室

積極的に参加をお願いします。

### 会費の過年度分合算請求における分納について

2014 年度より会費の合算納入が始まります。

合算請求額は通常、日放会費＋高放会費＝21,000 円ですが、過年度分の会費未納会員は、最大 21,000＋21,000＝42,000 円の請求書が届くことがあります。

金額が多くて一度に払い辛いという方のために、日放では分納の相談に応じることがあります。

ただし、分納の相談は各個人により状況が異なるので、各自が日放事務所へ問い合わせをしなければなりません。会費分割納入の相談は、各自で問い合わせをお願いします。  
日放事務局：TEL 03-5405-3613

## リレー エッセー!

その 123 ( 狩俣 昌平 : 国立病院機構 高知病院 )

龍馬の国にやってきて

「郷に入っては郷に従え」ということわざがあります。とりあえず高知になじむためにこの言葉を反芻していたのが 2 年と少し前。今年の 4 月でついに 3 年目となりました。なぜ私がこの言葉を 2 年前の今頃反芻していたのか。それは私が生粋の茨城県民だからです。小中高大とすべて茨城県の学校を卒業してきており就職で初めて高知へやってきました。就職して国立高知病院に配属が決まるまで、四国 4 県の並びすらわからない状態でまさに右も左もわからない状態でした。とりあえず高速バスで初めて高知の地へ降り立ち、高知駅前の龍馬像にお出迎えされて新生活がスタートしました。

今回、このエッセーを私に紹介してくださった近藤さんとの付き合いもここから始まりました。近藤さんは職場内で年が近いこともあり仕事面でもプライベートでも様々な面で助けていただいています。近藤さんの出身は高知なのですが技師学校が関東圏なのもあり、なぜか親近感がわいて何かと私になついていてというのが本当のところですが…

そんな中、先日、近藤さんに茨城県民の特集が TV でやっていたというのを聞いてふと茨城県と高知県の県民性について調べてみました。茨城の県民性とはいうと茨城の三っぽいというのがあるそうです。その内訳が怒りっぽい、忘れっぽい、飽きっぽいだそうです。こうしてみるとあまりいいところがないように見えますがひとつきあい計算がなく、単純で正直の裏返しでもあるようです。高知県の県民性はいうと、いごっそう、負けず嫌い、白黒をはっきりつける、おおらかだそうです。茨城県と高知県を比較すると県民性が全く違います。しかし、生粋の茨城県民である私が高知にきていろんな人と接してみると相性はかなり良いのではないかと感じます。というのも、どちらも素直であり自分の感情を素直に出すから腹を割って話せるからだと思います。一見すると茨城の県民性は口下手でシャイなのですが、高知県民の陽気さひっぱりされて気軽にかつ楽しく話せる雰囲気もあいまってなおのことそう感じてます。また、私個人の話なのですがお酒が好きなで県民同士の相性の良さもあいまってか、この 2 年間で多くの友人や知り合いが増えて楽しい日々を送っています。そして、生まれた環境等があり一概には言えないのですが県民性というのは確かに存在していると高知に来て改めて感じました。

今回は私が茨城県出身ということで、茨城県と高知県の比較について書かせていただきました。47 都道府県中最も魅力のない都道府県に先日選ばれてしまった茨城県ですがこの機会に少しでも茨城県について興味を持っていただけたら幸いです。

次のリレーエッセイなのですが同じ国立高知病院の宮榮克孝さんにバトンタッチさせていただきます。よろしくお願ひします!

## 総務報告 (2014/5/13 付)

1. 高知県の会員数	<u>220</u> 名
2. 本年度会費納入者	<u>17</u> 名
賛助会員	<u>5</u> 社
3. 25年度未納入者	<u>16</u> 名
4. 今年度新入会員数	<u>1</u> 名
(今月の新入会)	<u>1</u> 名
中田暢将：高知医療センター	
5. 今年度再入会員数	<u>1</u> 名
(今月の再入会)	<u>1</u> 名
伊東賢二：高知大学医学部附属病院	
6. 今年度退会者数	<u>0</u> 名
(今月の退会者)	<u>0</u> 名
7. 今月の会員異動	
なし	
	以上

(文責編集広報)

この技師会だよりは、**キタムラメディカル**と**和光商事**のご協力により会員の皆さんに配送されています。

## 編集後記

総会も無事終了し、新年度事業が動き出します。  
まずは、みなさんの地区での意見交換の場である地区会ですね。  
多くの参加と活発な意見交換をお願いします。

おおの